

令和3年(2021年)6月那覇市議会定例会

一般質問発言通告書(4日目)

令和3年6月14日(月)

※1人当たり15分間(答弁を除く)

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
1	上里直司 (なは立志会) 質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)	1 困窮世帯の生徒への支援について 2 伝統工芸振興について 3 龍淵橋について 4 「なは一と」の運営について	令和3年4月から新たに中学生も対象となった中高生のバス通学無料化事業は、玉城知事が県知事選で掲げた目玉政策とのことだが、不登校児童がフリースクール等へ通う通学費も対象となるよう働きかけるべきではないか。市長の見解を伺う 今年2月、壺屋にある新垣家の登り窯「東ヌ窯」は、那覇市が管理団体となったが、今後の運営について伺う 松崎馬場の整備に併せて接続している龍淵橋もかつての王国時代の姿に復元すべきではないか。見解を伺う (1) なは一との開館が迫ってきているが、具体的な事業内容や中長期の計画策定とそれらの事業遂行における評価、指摘などを行う諮問機関等があるのか伺う (2) 備品調達の進捗と初期の計画からの変更事項について伺う (3) フリーランス(演奏家、芸術家)との契約または外注の際、電子契約書等(電子決済含む)のアプリを導入し、DX化を図るべき。見解を伺う

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
		<p>5 道路行政について</p> <p>6 若年妊産婦支援について</p> <p>7 生涯学習センターについて</p>	<p>久茂地9号について通り会との合意形成の進捗について伺う</p> <p>今年度の取組について</p> <p>構想発表から8年経つが、その後の進捗について伺う</p>
			<p>【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長</p>

一般質問（4日目） 令和3年6月14日（月）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
2	喜舎場 盛三 (公明党) 質問方式 総括質問方式 (質問席のみ)	1 道路行政について 2 街路樹について 3 交通安全について 4 災害時の避難について 5 介護行政について	那覇市道において、上水道や下水道等の工事を施した後の復旧はどのようになっているのか 那覇市道における街路樹の維持管理について伺う 市道与儀国場北線の与儀ローソンとガソリンスタンドの間付近は、カーブになっているため見通しが悪く、安全対策を要望する声が多い。見解を伺う (1) 避難行動要支援者名簿の作成と個別計画作成について伺う (2) 福祉避難所の指定の現況を伺う 本市におけるフレイル予防の取組を伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

一般質問（4日目） 令和3年6月14日（月）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
3	<p>當間 安則 (市民のこころ)</p> <p>【質問方式】 総括質問方式 (質問席のみ)</p>	<p>1 那覇市立病院建替事業について</p> <p>2 漫湖公園の整備について</p> <p>3 障がい福祉について</p> <p>4 コロナ禍の現状について</p>	<p>老朽化に伴う本市古島の現病院敷地内に建設予定の新病院棟の本体工事について以下伺う</p> <p>(1) 建築・設備の概要について伺う</p> <p>(2) 発注及び工事スケジュールについて伺う</p> <p>(3) 発注方針と発注の仕方について伺う</p> <p>本市の総合公園である漫湖公園と奥武山公園及び壺川を繋ぐ通路を那覇大橋掛け替え時に建設し、市民の快適で安全な通行を確保すべきである。以下伺う</p> <p>(1) 那覇大橋掛け替え事業の現時点での進捗と現況について伺う</p> <p>(2) 桁下通路を要望すべきであるが、県の計画と本市の見解を伺う</p> <p>(3) 通称、くじら公園のグランドゴルフが行われている箇所について用途と管理について伺う</p> <p>(4) 通称、わかばコートと言われるゲートボールが行われている箇所について用途と管理について伺う</p> <p>(1) 過去3年間で、就労移行支援及び就労継続支援A型より一般就労につながった人数及び割合について伺う</p> <p>(2) 就労定着支援を利用したが一般就労で定着できず、継続雇用が困難であった方や、就労移行支援を利用したが一般就労に結びつかなかった方の人数及び割合について伺う</p> <p>ごみ収集運搬業者の新型コロナウイルス感染のこれまでの状況と課題について伺う</p> <p>【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長</p>

一般質問（4日目） 令和3年6月14日（月）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
4	<p>前泊 美紀 (無所属の会)</p> <p>質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)</p>	<p>1 「誰ひとり取り残さない」那覇市政について</p> <p>2 若者の政治参加と制服自由選択制について</p> <p>3 協働による地域課題解決への取組について</p>	<p>(1) 沖縄弁護士会は、「沖縄県及び県内の各市町村において犯罪被害者等支援条例の制定を求める会長声明」を令和3年3月29日付けで発表した</p> <p>その中で、具体的に「各市町村に対しては、専門的な職員を配置した総合支援窓口の設置、既存の住民サービスの犯罪被害者等支援の活用、犯罪被害者を対象とした新たなサービスの整備、簡易かつ迅速な手続きによる生活費の支給等の支援を盛り込んだ条例の制定を求める。」としている</p> <p>以下を問う</p> <p>① 本市の犯罪被害者等への支援と声明への対応</p> <p>② 県の動向</p> <p>(2) 沖縄被害者支援ゆいセンターへの支援と連携について問う</p> <p>去る本市議会2月定例会で、仲井真中学校3年生から提出された10件の陳情が審査され、うち「中学校制服自由条例について」「中・高制服どっちでもOK条例について」の2件（後者については市立中学校部分）が全会一致で採択された本市及び市教育委員会の対応を問う</p> <p>海の生き物の命を守ろうと、子ども達が立ち上げた「地球ハートクラブ」は、若狭海岸でクリーン活動を2015年12月から毎月続けている。その中で、落ちているごみ（注射器や中身が抜かれた財布など）から、様々な地域課題の発見があったという</p> <p>関係する、協働、環境、生活安全、まちづくりなどの観点から、現状認識と協働による課題解決へ向けた取組について、各部等へ問う</p> <p>【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長</p>

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
		4 学校施設における安全安心の確保について	<p>市内小中学校へ設置されている公衆電話の撤去問題について当局の見解を伺う</p> <p>(1) 学校内における公衆電話設置維持の必要性と意義を伺う</p> <p>(2) 学校施設の災害時指定避難所としての機能と役割を伺う</p>
			<p>【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長</p>

一般質問（4日目） 令和3年6月14日(月)

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
6	<p>古堅 茂治 (日本共産党)</p> <p>質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)</p>	<p>1 コロナ禍について</p> <p>2 平和行政について</p> <p>3 首里城再建について</p> <p>4 文化行政について</p>	<p>新型コロナ対応で奮闘されておられるすべてのみなさん、市民に寄り添いがんばっておられる市職員に心から敬意と感謝を申し上げる。感染の拡大、緊急事態措置区域の追加は、日常生活、営業と経済、雇用などにも大きな影響を及ぼしている。安全・迅速なワクチン接種、大規模検査、中小企業と雇用を支える十分な補償、感染症対策と生活支援対策を同時並行で進め、コロナ感染を封じ込めることが求められている。そのためにも、国・県・市町村・住民が連携し、一丸となってコロナ危機を乗り越えていくために、超党派で力を合わせて政治の責任をしっかりと果たすことも求められている。そこで、特別措置法に基づく緊急事態措置に係る沖縄県対処方針に係る「重点検査の拡充」「新型コロナワクチン接種の促進」などの取組と課題等を問う</p> <p>戦後76年、戦争体験者の高齢化が進む中で、沖縄戦の実相と教訓を後世に継承していくことが大きな課題となっている。戦争遺跡は、沖縄戦の「生き証人」といえる存在となり、沖縄戦を体験し、戦争と平和について考える教育力をも備わるものとなる。沖縄県の第32軍司令部壕保存・公開検討委員会での文化財指定に関する議論の概要を問う</p> <p>首里城は沖縄県民の心のよりどころで早期再建が望まれている。3月29日に確定した「首里城復興基本計画」の概要を問う</p> <p>多くの市民・県民、文化芸能関係者が開館を待ち望んでいる新市民会館、県内唯一の都市型公共劇場・那覇市文化芸術劇場「なは一と」の進捗状況を問う</p>

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
		<p>5 人権と人間の尊厳の尊重について</p> <p>6 救急救命について</p> <p>7 道路行政について</p>	<p>(1) 私は、2020年2月定例会一般質問で、人権侵害のブラック校則の見直しを求めた。質問は、「琉球新報」の2020年の金口木舌、2021年の「沖縄タイムス」の1面トップの特集記事、社説などで引用掲載され、人権侵害の校則の問題点を多くの人々に知らせ共有することができた。そこで、校則見直し、制服の選択制導入についての教育長の議会答弁を受けての改善に向けた取組を問う</p> <p>(2) 最高裁で指弾された本市の土地区画整理事業での法令遵守違反、法令解釈をミスした事件は、問題発覚から30年、行政不服審査請求から最高裁判所での那覇市の上告不受理決定まで22年、最高裁不受理決定から1年以上と、当事者に苦痛を与え続けている。これは、本市による人権侵害ともいえる事件である。市当局の見解と、城間市長の真摯な議会答弁、「本市の行政処分が違法という結果を重く受け止めまして、この換地処分につきましては長年是正を訴えてこられた当事者の方、そして御親族の方々に改めて心よりおわび申し上げます。本件の解決につきましては、誠意を持って対応し、早期に解決を図ってまいりたいと考えております。申し訳ありませんでした。」を受けての早期解決への取組、当事者が求めている造成工事への見解を問う</p> <p>自動体外式除細動器（AED）について、本市が設置した台数、目的等を問う</p> <p>市民からの要望も多く、担当部署の道路等の補修整備に関するがんばりには市民の評価が高い。そこで、道路や橋梁の経年劣化で補修や対応などが増えている中、道路管理行政の課題を問う</p>

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
		<p>8 下水道行政について</p> <p>9 尖閣諸島への中国の領海侵犯・本市議会の意見書、決議等について</p>	<p>本市の公共下水道に接続している浦添市前田地区の公共下水道の使用料が、浦添市の報告漏れで那覇市へ18年間も未払いとなっていた問題について、私は、議会質問で浦添市が住民から使用料金を徴収していながら、自らのミスにより那覇市へ未払いを発生させたのにもかかわらず、時効を主張する理不尽、不誠実な浦添市の対応を厳しく批判してきた。この浦添市の未払い分の解決に向けた取組を問う</p> <p>中国公船の尖閣諸島接続水域への入域、領海侵入の本年の状況と、本市議会は2月定例会において、「中華人民共和国の海警法施行に対する適切な対応を政府に求める意見書」「沖縄戦の戦没者の遺骨等を含む可能性のある土砂を埋め立てに使用しないよう求める意見書」をはじめ、6件の意見書と3件の決議や陳情などを超党派で力を合わせ、全会一致で採決した。この本市議会の取組への見解を問う</p> <p>【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、上下水道事業管理者、関係部長</p>

一般質問（4日目） 令和3年6月14日（月）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
7	清水 磨男 (ニライ) 質問方式 総括質問方式 (質問席のみ)	1 教育行政について 2 レインボー行政について 3 まちなか行政について	(1) 海外への進学、海外への就職など、その受験時期や方法などを、子どもたちに教えているのか伺う (2) 給与明細の見方、確定申告、税金の払い方、保険料の納付など、社会人となれば義務的に行うことの実例や実際の手続きなどを、子どもたちに教えているのか伺う (3) 子ども食堂といった取組での課題や発展的な考え方があれば伺う (4) エディブルスクールヤードの那覇市への導入について伺う (5) 学校適正配置計画の現状を伺う ファミリーシップ登録の導入について伺う (1) 那覇市内で整備されているWi-Fiについて、現状と課題を伺う (2) 景観保全などの観点から、ゴミ箱の設置または那覇市ごみのポイ捨て防止による環境美化促進条例の改正について伺う (3) 地名、街路名、拝所など、地域の変遷を那覇市は取りまとめているのか伺う (4) 那覇市のストリートデザインの進め方について伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長